

令和5年度
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校 第2回探究Day
第2部 ポスターセッション
要旨集

1年生(101~138) 2年生(201~236)

1~3組

*探究内容は分野をまたがっていることもあります

- | | |
|--------------|-------------------|
| ・伝統文化分野 | 101~106 、 201~204 |
| ・教育分野 | 107~110 、 205~208 |
| ・福祉分野 | 111~114 、 209~213 |
| ・グローバル分野 | 115~118 、 214~217 |
| ・暮らし、地域経済、観光 | 119~125 、 218~221 |
| ・自然との共生 | 126~129 、 222~224 |

4組

総合科学コース(自由テーマ) 130~138 、 225~236

2024年3月6日(水) 11:10~

101	デカボーでデカンショを盛り上げよう
平岡航晴 本庄陽栄 加藤蓮都	
今の篠山を盛り上げるためにデカンショが適していると考えた。そしてデカンショのキャラクターのデカボーを使えばデカンショが盛り上がり篠山が盛り上がると思った。デカボーはどうすれば人気のあるキャラになるのかを調べてみた。方法として人気キャラと比較し、どう改良すればいいのかを考察してみた。結果としてもっと活動する機会を増やす、他地域での活動を増やす事が出てきた。	
102	デカンショを歌詞募集で広める
北脇幸生 清水颯人 藤原悠成 紀本恒陽	
デカンショを広めるには歌詞募集で広められないかと考えている。そのために現状を知る方法を二つ考え、一つ目はデカンショの歌詞の歴史を知る、二つ目はネットなどで今までの歌詞の数や毎年どのくらい集まっているのかを知ること。結果、デカンショの歌詞は全国から募集しており、年によっていろいろな賞があることがわかった。今後の課題はもっと若者の票を増やせないかと考えており、篠山鳳鳴高校のデカンショ節を作ろうと考えている。	
103	篠山と能舞台との繋がり
竹内創祐 道上准弥	
昔の篠山の人々と能舞台との繋がりを知ることが目的として能楽資料館の館長にインタビューした。その結果篠山は昔から能が盛んな地域だったため繋がりがあった事がわかった。今の春日能の現状を知ることができた。調べたことは春日神社の能舞台のことだけだったので他の能舞台とその周辺地域の繋がりを調べていく。	
104	篠山の家紋と歴史
平尾幸花 西梨花 丸井琴水	
現在、家紋があまり使われていないことに気づいた。仮説として家紋は身分を表し、山や川などの自然から作られたのではないかと考え、ネットで検索したり家紋研究会理事の田中さんにお話を聞いて調査した。その結果家紋は所属や手柄を表すもので、身近なものや主従関係、宗教などさまざまな理由で作られたことが分かった。家紋と宗教に意外性を感じたので今後それらの関係を調べたい。	
105	猪肉を使って観光業を盛り上げるには？
南野悠人 小林俊樹 服部廉	
猪肉を使って観光業を盛り上げるにはどうすればいいか考えました。そのために実際に猪肉店に訪問したり、ネットで猪肉の現状、鹿肉との比較宣伝に使えるものがないか調べました。結果、猪肉は鹿肉に比べて値段が高いことが分かりました。値段が高くても、観光客に対して上手く工夫して宣伝することを考えたいです。	
106	篠山アートフェスティバルで観光客増加
前田龍二 藤原陽向 山本匠人 杉尾周音	
地域活性化をしたくて調べていたらアートによって地域が盛り上がっている前例があり篠山でも行われていることが分かった。篠山市の地域活性化のために篠山アートフェスティバルをどのように生かしていけるかを調べるために現状篠山アートフェスティバルの集客数や経済効果についてをアートフェスを運営している方に聞いた。その結果から、篠山アートフェスティバルを地域活性化に活かすために、可能性や改善点を考え、私たち高校生がアートフェスティバルに参加し、課題を改善できるようにアクションを実行する。	
107	鳳鳴に来て欲しい！
足立美歩悠 桐村真央 高山裕奈	
私たちが中学校の時に受けた進路学習をもう少しより良いものにできるのではないと思った。そこで今の中学生に高校についてもっと知ってもらい、鳳鳴高校に入学しても理想通りの高校生活を送ってもらえることを目的とし、中学校の進路担当の先生にインタビューをした。さらに鳳鳴高校の一年生にアンケートをとった。その結果、高校に入学する前と後での高校に対するイメージが違うことがわかった。これらを踏まえて私たちは今の中学生に高校についてどのような情報を求めているかなどのアンケートをとる。	
108	鳳鳴高校の受験者数を増やすには
田和夏生 坂本心愛 山口心優	
私たちは鳳鳴高校の受験者数が定員割れしている事を課題であると考え、鳳鳴高校の受験者を増やすために、タブレット内で作成したアンケートを篠山市内の中学2年生に夢プランで回答してもらった。夢プランのアンケート結果で、高校を選択する際、今の学力を考慮するという意見が1番多かった。また、柏原高校と鳳鳴高校の2018年～2023年の志願者数を比較した結果、柏原高校が鳳170鳴高校を大きく上回っていた。そこから、鳳鳴高校の進路実績などの発信および、作成したアンケート結果が出次第、そのアンケート結果を元に、鳳鳴高校生に向けたアンケートをとる。	

109	鳳鳴の魅力をSNSで伝えるには
高畑花凜 首藤美颯 恵恵莉奈	
<p>私たちは鳳鳴高校の受験者数が年々減っていると感じた。そこでSNSを使って本校の魅力を伝え、受験者数を増やそうと考えた。その方法として、公式アカウントの現在のフォロワー数を調べたり、市役所やSNS運用代行のお仕事をされている方にお話を伺った。その結果、もっとも利用されているSNSアプリは何なのか、中学生のSNS利用率などがわかった。今後活用できそうな結果としては、いざSNSを使ってPRを行うときに気をつけるべきことや、どのような内容で投稿を行うと目を引きやすいかなどがわかった。これからすべきことは、このPRが学校として可能なのかを校長先生に相談したい。</p>	
110	テストの点数を上げる方法
東門胡桃 青木美羽 酒井萌愛	
<p>高校生にとって関心の高いテストの点数を上げる方法について調べようと思った。高得点を取るには記憶力が重要であると考え、一週間後どれくらい同じものを覚えているかを調べた。学校・教育のメンバー16人に声を出して書く、沢山書く、夜寝る前にする、テスト形式です、の4種類で漢字テストを複数回実施した。その結果勉強の仕方によって、一週間後、同一テストの結果が変わった。長期間記憶に残しておくのに適する勉強法を提案する。</p>	
111	丹波篠山市の医療について
堤彩樺 中川百華 松木結衣	
<p>丹波市や三田市では通院無償化が高校生まで拡大してる。しかし丹波篠山市ではあまり進んでいない。私たちは3つの市役所にお話を伺い丹波篠山市が通院医療費無償化を高校生まで拡大した時にかかるお金を調べました。三田市では約5600万円、丹波市では約4000万円かかることがわかり、この事から丹波篠山市では約5千万円以上のお金が必要だと考えた。その結果税金で賄われているので難しいことがわかった。子育てをキーワードで拡充することを提案する。</p>	
112	医療的ケア児について
北山結愛 富山嘉恵 峯崎愛	
<p>医療技術の発達により年々医療的ケア児と呼ばれる子供が増加しています。その増加に伴い、不足している制度や支援者の解決を行うためにこの探究の目標を設定しました。インタビューや文献調査を行うことで医療従事者などの支援者、支援施設の不足が問題だとわかりました。支援施設が足りないことから、家庭内での支援者の負担が大きくなっていると考えました。支援施設をどうやって増やすかが今後の課題です。</p>	
113	公園で自由にボール遊びをするには
宮脇琉希 井関朔人 藤澤慶大 新家理靖 垣内陽貴	
<p>年々子供の数が減っていついていっているのに対して公園の使用についての規制が多くなったりして自由にボール遊びなどができなくなってきている。その中には、ルールなどはないが注意をする人もいるなども理由の一つ。自分たちはボール遊びを不自由なくみんなが遊べるようにする方法を見つけるのを目的にし、フィールドワークやアンケートをした。その結果看板を立てるや、市役所などと相談するなどのおおまかな方法がわかったが、細かいところはこれからの課題です。</p>	
114	なぜ、子供が減ってきているのか
伊賀菜乃夏 石田ひより 柴田愉子	
<p>近年丹波篠山市では少子化が進み、子供の数が減少していることがわかった。そして、丹波篠山市の子供の減少を抑えることと、若い世代の声を聞くことを目的とし、2つの施設に訪問した。その結果丹波篠山市では少子化対策を行っていることがわかった。また、篠山鳳鳴高校の全校生徒にアンケートを実施した。そして、子供が欲しい理由としては子供のいる家庭を築きたい、子供が欲しくない理由としては子育てに自信がないという結果が出た。それらの結果から子供と触れ合う機会や預ける場所を増やすことを提案する。</p>	
115	外国人の方に相談所を知ってもらうために～外国人労働者の人が住みやすい町へ～
池内沙也香 荻野楓 榎谷萌愛	
<p>現在、丹波篠山市に住んでいる外国人の方が相談する場所があることを知っている人は少ない。私たちのグループは、外国人の方が困っている事などを気軽に相談でき、自然と地域の人も外国人の方も住みやすい町になるように、外国人の方がよく行くお店に相談所についての説明が書いてあるポスターなどを掲示してもらう活動をしている。もっと沢山の店や施設にポスターを掲示してもらうことを提案する。</p>	
116	どうすれば外国人労働者の家族が生活で日本語に困らないのか
難波妙衣 石橋彩花 團野仙一朗 山田歩	
<p>現在、丹波篠山市に住んでいる外国人は相談窓口を利用して、困り事を解決していることが分かった。主に病院での通訳や引っ越しの時のインターネットの解約、ガス、水道の電話などがある。離婚の相続問題などの大きな問題は相談窓口だけでは解決できないので、弁護士や警察に電話することを知った。また、それぞれの国に言語対応したガイドブックもあるが、それを見る人が少ないので、ガイドブックの重要性を広めることを提案する。</p>	

117	外国人観光客を呼び込みたい!!
青野利希人 陰山悠誠 田中達也	
近年の状況を見ると、時代の流れにより日本の観光動向も大きく変化してきており、日本政府観光局によると、平成30年の訪日外国人観光客数は約3万人に達し、6年連続で過去最高を更新していることが分かった。そこで丹波篠山観光まちづくり戦略を策定し、市の観光資源を活かし、篠山の魅力を伝えるため丹波焼づくり体験の機会の増加などを提案する。	

118	外国人が観光しやすい篠山にするには
佐々木鴻磨 山崎心 足立蒼真	
現在の丹波篠山市の外国人観光客が少ないことがわかりました。現状の丹波篠山市は外国語に対応しているところが少ないです。対応しているところが少ないので今の丹波篠山市の観光客数があまり増えていないことがわかりました。それを加味して僕たちが今考えていることは、最新技術である翻訳機器を使って困っている外国人や日本人などに貸し出しをすることを提案します。	

119	丹波篠山市を発展させるには
大垣莉彩 久下莉杏奈 澤本悠杏 前川唯來	
近年、商店街がにぎわっていない点や交通が不便な点が問題になっていることを知った。そこで私たちは交通網・商店街の活性化を目的とし、商工会さんとバス会社さんへ聞き取り調査に行った。その結果年中観光客の数が一定ではないことやバスは要望があれば(ルート・時間・本数)の変更が可能だということがわかった。おもにバスの運行ルートに商店街を入れ、商店街で使える商品券を作り、バス利用者に配ることを提案する。	

120	季節を問わず観光客を増やすには
石田翔大 白井樹生 小寺宗介 前川渉 山本昂導	
丹波篠山市は秋に観光客が集中している。そこで秋以外にも観光客を増やす方法を調べた。結果として、兵庫県は宿泊客より日帰り客のほうが多いこと、平成27年度から外国人観光客が増加していることがわかった。そこで、今後は日帰り客を対象として、冬から夏にかけて観光客を増やすことを目標にした。まずは、無料Wi-Fiを使って人々の行動調査を分析していきたい。また、他県で集客効果があった、観光地を巡れるようeバイクを使ったツアーなど、現在取り組みやすいことからすすめていくことを提案する。	

121	篠山の人口を増やすために
川田如珠 波部尚樹 木村心晴	
近年、丹波篠山市でも少子高齢化が進んでいる。そのため私たちはウェブサイトを利用して移住者を増やし丹波篠山市を活性化させようと考え、実際にIターンされた方にお話を伺った。その結果、地域ルールを調べ、まとめることが私たちの直近の課題となった(地域ルールとは草刈りや祭りなどその地域特有の移住してきて初めてわかるルール)。今後は地域ルールを詳しく調べ、Webサイトに掲載することで、移住者を増やしたいと考えている。	

122	バスの利用者を増やすには
市川琴子 蓬萊史子	
現状、車の方が便利で、バスの利用者が少なく、バスの本数も減っている等、公共交通のあり方が問題になっている。そこで私たちはバス利用者を増やす方法がないかと考え、丹波篠山市役所で話を聞いた結果、篠山にある高校を市外の人に知ってもらうことでバス利用が増えるという結論になった。今後は、篠山市周辺の中学校とその地域の中学2年生・3年生のいる家庭への高校のパンフレットの配布やSNSで篠山の魅力を伝えることでバス利用者を増やし、更に一般の方の利用者も増やすことも考える。	

123	祭りを継続させるには
雪岡宗志郎 寄本圭太 原田蒼大 杉原涼太 久禮汐里	
春日神社秋祭りは現在、人手不足により神輿の担ぎ手、山鉦の乗り手が少なくなっていることが分かった。担ぎ手、乗り子の人手不足を解消して春日神社秋祭りを存続させていくことを目的とし、秋祭り保存会の方へインタビューを行った。その結果、本来山鉦には乗らないような地区、遠くの地域の小学生に山鉦に乗ってもらえないかと考えていることが分かった。このことから、ポスターなどを製作し地域の小学生や遠くの小学生に宣伝することを提案する。	

124	通学路の安全を確保するには
西口雪華 小豆眺真 畑夏愛 西村和紗	
私達が通学をする時に歩道が狭く、自転車に乗っている中高生とぶつかりそうになり、危険だと感じることもある。本研究では安全に通学や買い物、散歩に行くことができるような生活を目的とし、警察署及び市役所への調査と自転車通学をしている本校生へのアンケートを実施した。その結果、すぐに道幅を広げるなどの道路改善は難しいという結論が得られた。そこで、歩道の草刈り、歩道脇にある側溝に蓋をして利用範囲を広げる等の交通整備を提案する。	

125	住山ごぼうを広めたい
植野千愛里、瀬戸さく良、吉田碧子、小川日千華、西村つぼみ	
丹波篠山の特産品の1つである住山ごぼうは、認知度が低く多くの人に知られていないことが現状です。私たちは住山ごぼうを広めることを目的とし農家さんへのインタビューやインターネットなどを通して住山ごぼうについて調査しました。その結果、住山ごぼうの特徴を知ることができたり、ごぼうを使ったお菓子の事例を発見したりしました。そこで私たちは、若い人の目にとまりやすい映えを意識したスイーツを作ると住山ごぼうは広まると考えました。実現に向け現在M's Passionさんにごぼうスイーツを開発中です。	

126	魔法のお肉～これであなたも篠山美人～
波部良祐 西上夢奏 木村瑛太	
篠山にはジビエという特産品があるが、あまり知られていない事が分かり、私達はそんなジビエ肉の存在をもっと知ってもらいたいと考えた。そこで、ジビエ肉専門店『おおみや』さんにインタビューをした。その結果、ジビエ肉には出荷量が少ないなどのデメリットもあるが、栄養価が牛や豚等よりも高いという魅力もあることがわかった。今後、このジビエ肉の魅力や可能性を知ってもらうために宣伝活動を行っていく。	

127	ジつはピっくりするぐらいエイようがある肉
西尾世名 西野翔 吉村俊志	
最近篠山ではジビエ料理の人氣が徐々に下がってきている。主に若い人や篠山に住んでいない人たちがジビエを知らない。私たちは、今の若い世代の人たちがもっとジビエの知名度を上げることでこの篠山の知名度も上がるのではないかと考えた。そこで、夏休みの間フィールドワークでおおみやさんへ行き、ジビエの仕入れ量や仕入れ場所などを聞いた。結果は11月から2月あたりで仕入れをする。天候や餌の量などで多少量は変わるが基本は冬に西日本で仕入れるとわかった。今後は、ジビエをもっと広めるためにみんなの目に入るような場所にポスターを貼りたいと考えている。	

128	ご注文はブラックバスですか？ Is your order a blackbass?
井上 瑛治 井階 優人 岸田 琥珀 椿野 桔平	
いまだに日本国内で起こる外来種による被害総額は60兆円にもなっている。そこで私たちは外来種をおいしく食べることができれば、食べるために捕まえる人が増えて数が減っていくと考えた。夏休み釣りに行ったときは、小さいバスしか釣れず、研究が不十分になってしまった。これからも美味しく食べるために、いろいろな料理方法を試して行って、最終的にたくさんの方が食べるようにしたい。	

129	見ろサルが野菜食ってんぞ
澤本優 油浅然良風 小林弥恵	
全国的にサルの獣害被害が多く、丹波篠山ではサルの獣害対策が進んでいるということがわかった。私達の探究では、サルの獣害対策について知ってもらうため、まず高校生の獣害対策についての意識の違いを明らかにすることを目的とし、複数のアンケートから分析した。その結果、住んでいる場所や環境によって獣害対策への意識の違いはあまりなかったが、全体的に獣害対策への意識が低かったという結論が得られた。高校生により意識を持ってもらうため今後の探究を進めていく。	

130	スッキリ起きるには
久見瀬環多 讃岐美緒 波部百花 福井瑛太	
班員で話をする中で、朝スッキリ起きられない人が多く、どうしたらスッキリ起きられるようになるのか気になって調べることにした。するとスッキリ起きるのに効果的な事を知り、そのことを踏まえて班員でいくつかの朝スッキリ起きることと関係がありそうな問いを立てた。そのなかでも初めに一番起きられるアラーム音に焦点をあてて調べることにした。	

131	篠山の魅力を活かす経済発展!
畠中翔太 宮崎颯秀 谷後煌 谷口昇陽	
私たちは丹波篠山市の赤字を減少させていくためにどういうことをしていけばよいかを調べた。そして調べて行くと観光業が赤字の減少に影響を与えていることがわかった。そのことを踏まえ、私たちは観光客が何を求めて観光しているのかを調べることにした。	

132	魅力ある街づくり
植山陶吾 寺本敦士 山下遼真 吉川颯太郎	
私達は現在の丹波篠山市を、伝統文化溢れる魅力ある街と考えるが、それと同時に少子高齢化などによる人口減少により街の賑わいが薄れていると感じている。そこで、より丹波篠山市が観光客と市民で賑わう街にするために様々なイベントの開設を提案する。	

133	シン・ウインドウ習慣～子育て世帯に手軽に気軽に楽しく運動をしてもらうために～
宇杉心花 山下奏乃	
学生時代は体育や部活動でほとんどの人が運動に取り組んでいたが、家庭や仕事を持つと時間の確保が難しくなり徐々に運動から離れて行っている現状がある。そこで私達は子育て世代に焦点を当て手軽に気軽に楽しく取り組める運動を考え、運動する人を増やし、街の活性化に繋げていきたい。	

134	効果的なゲームの使い方
足立乙華 小倉琴子 倉垣祐杜	
ゲームをする人の増加に伴って勉強への悪影響を感じる機会が多くなっている。そこでゲームが勉強に与えるメリットもあるのではないかと思いこのテーマに決めた。検証方法としては3つの系統のゲームと得意科目を聞くアンケートを行い、出し合った系統別のゲームのハマる要素やメリットと結果を組みあわせる方法で、関係性をつかみたいと考えている。高校生ならではの視点から、「ゲーム=学力が下がる」という考え方を換えようと思っている。	

135	いじめを減らすには
石田美麗 小谷侑愛 中澤愛梨 森本脩太	
私たちは現代、社会問題になっているいじめを減らすにはどうすべきかを探究している。実は小さなきっかけからいじめは始まっていくもので、身近な所にいじめはあることがわかった。いじめが発生する要因として自己肯定感や他者肯定感の高さが関係しているというデータから自己肯定感に着目して探究を深めたいと考えている。	

136	人はなぜ自然を求めるのか
竹村悠生 田淵日和 畠中健瑠	
自然に興味があり、このテーマの答えを見つけた上で、私たちの住んでいる丹波篠山を盛り上げたいと思ったからこのテーマを設定した。探究を進めていく中で、人は視覚によって自然を認識していることが分かった。よって自然は視覚に働きかけるような大きな魅力があるのではないかということ。また自然の中では都市部よりも有害物質が少なく、体にいい物質が多いため心身ともにリラックスさせる効果がありそれを魅力に感じているのではないかと考察した。これらを踏まえて、具体的にどんな自然を求めているのかなどの問いを調べることに加え、テーマにつながる篠山の課題を発見しこの探究を深めていきたい。	

137	ひらめきは後天的に身につけることができるのか
奥山陸仁 時本朋実	
AIが社会と深く関わっている今、人間の武器として挙げられるのはひらめきだと考え、誰でも生活習慣を改善することでアイデアが浮かぶようになることを目的とし、探究を進めている。私たちの班は数学を勉強することでひらめき力が上がるという仮説を立てた。今後の展望として、この仮説に基づいてアンケートをとり、そして他の角度からもアプローチをし、探究を深めたいと考えている。	

138	カメムシを食べよう
亀山桂一 逢澤仁 本多竜騎 畑中太陽	
鳳鳴高校に多くのカメムシが発生し、これらをどうにかしたいと考えていたときにJICAでラオスの昆虫食文化を聞き、自分たちも同じようなことができるのではないかと考えこのテーマを立てた。具体的にどうするか考えていく中でカメムシは刺激を与えることで匂いを放ち、その放った匂いは香菜のにおいの成分と似ていることが分かった。これらを踏まえて、今後は匂いを出さずに効率的にカメムシを捕まえる具体的な方法や実際にいろんな調理法を試し、いい調理法を見つけていきたいと考えている。	

201	今、求められる力とは
畑暁太 細見梁 山内詩織 山本芽生	
<p>昨年探究した篠山藩の実用的な教育を現代にも活かしたいと考えた。本研究では現代における実用的なスキル・能力は何か知るため、社会人の方々にアンケートを実施した。その結果、語学力に関して「身につけてよかった」という回答は少なかったものの、「身につけるべきだった」「これから必要だと思う」とする回答が多く、学生の時には重視していなかった語学力の必要性を社会に出て実感する人が多いのではないかと考えた。また、これから必要とされる能力には「コミュニケーション能力」という回答も多く、これらから、現代教育で育むべき能力・スキルは「語学力」「コミュニケーション能力」であると結論づけた。</p>	

202	古墳から見る丹波の重要性
谷口雄亮 山本陸翔 波部奏斗	
<p>雲部車塚古墳の凄さを調べる中で、多くの人が「そもそも知らない」「興味が無い」のは、「丹波篠山市内から遠い」「周りに何も無い」「情報が少ない」からだと分かった。そこで、まず鳳鳴生に興味を持ってもらう為に自作のカレンダーを用いてPRし、2週間後にアンケートを取ったところ、『QRコードを読み取られていない』事から、「古墳の凄さが伝わっていない」と考えられ、それは「カレンダーの見た目や掲示場所、読み取ってもらう為の工夫が不適切だったから」ではないかと考えた。</p>	

203	篠山城の魅力と特長
家谷日向 井関裕策 酒井和花	
<p>去年に引き続き篠山城を調べていく上で、篠山城の魅力が十分に伝わっていないことがわかった。そこで自分たちで篠山城の魅力をもとめた冊子を作成し、その冊子が十分に篠山城の魅力を伝えられているかを、アンケートを実施し確認した。その結果冊子を見る前「篠山城に魅力を感じない」と回答した人の約半数が冊子を見た後、「魅力を感じるようになった」と回答した。その結果からある程度、作成した冊子は魅力を伝えられていることがわかった。しかし文字の多さや専門的な部分が多かったことなど、冊子の課題も浮き彫りになった。人によっては冊子よりも効果のある宣伝方法があると思うので新たな宣伝方法を模索する。</p>	

204	丹波地域の昔話に込められた思いを受け継いでいくには
家永愛梨 西田圭佑 森田穂	
<p>今年の探究で昔話には大切な意味が込められてると考察した。そこから、どのようにしたら伝わり、受け継いでもらえるかを考えるのを目的に、アンケート調査とパンフレットの配布を行なった。その結果、昔話の意味を考えて読むことがないという人が多く、パンフレットを読んで初めて昔話には大切な意味が込められてる事を知ったという方が多かった。また地域の昔話に触れる機会が無かったという方も多かった。そこで、図書館や、園、学校などでの読み聞かせて篠山の昔話を語り伝える機会を多くしたり、パンフレットを公共の施設に置いてもらい、そこから本を手にとってもらって、大人にも子どもにも知ってもらうのが受け継いでいく方法だと結論づけた。</p>	

205	ICT教育
中野咲来 中村夢 原心優 松久拓夢	
<p>1年の時はICT教育について調べましたが、今年はデジタル教科書に着目しました。iPadが導入されて2年経ち、メリット・デメリットを調べることができました。2つを比べるとiPadが授業であまり活用出来ていないことが分かりました。生徒にアンケートを行った結果、iPadの導入に賛成した人が多くいました。iPadを活用するために、デジタル教科書を導入していきたいです。デジタル教科書を使うことで、教科書代が削減されたり、環境にも良い変化をもたらすと考えます。</p>	

206	校則
小松陽向 佐々木愛来 藤田陽菜 安藤瀬里	
<p>きっかけは自分たちが校則を変えたいと思ったためです。校則について文献調査と校長先生へのインタビューを行いました。その結果、校則はみんなの学校をよりよくするためや生徒の安全を守るためのものであることが分かりました。デメリットは生徒の負担になり、自由が制限されることです。また、校則を変えるためには、いろいろな段階を踏む必要があることが分かりました。調査から、根拠がないと校則は簡単に変えることはできないことと、まず先生で話し合っ、生徒指導の先生に許可をもらって、校長先生の許可をもらう必要があることが明らかになりました。</p>	

207	授業中寝ないようにするには
日浦心々和 前川理菜	
<p>きっかけは授業中眠たくなる人が多いとアンケートでわかったことです。授業の内容を聞いていないことがあるということだったので、寝ないようにする方法を知るために探究をしました。その結果、さまざまな方法があり、その中からいくつかの方法を取り上げてポスターで呼びかけをし、授業前や授業中に実践してもらい、ポスターを貼る前と貼ったあとの授業中寝てしまった人の変化を見て効果があるのかないのかを確かめました。今後の探究活動でより効果的な方法を見つけていきたいです。</p>	

208	小学生が意欲的に勉強に取り組むには
吉田宥也 荻野彩景 渡邊紫音 山根帆乃花	
近年、文部科学省が学力テストで、SNSや動画視聴と学力テストの平均正答率の関係をグラフにしたところ、それらの使用時間が増えるたび、学力テストの正答率が低下したことがわかりました。そこで私たちは、小学生が意欲的に勉強に取り組むにはどうしたらいいかを調べるために、学童でフィールドワークを行いました。その結果、時間を決めて勉強したり、分からない問題を一緒に考えたりすることが小学生の勉強意欲の向上につながりました。	

209	丹波篠山市への移住者を増やすために
足立瑠那 足立瑠唯 中元夏芽	
現在の丹波篠山市は、コロナの影響が減少したことにより、移住者が増え続けている。私たちはさらに丹波篠山市への移住者を増やすためにできることがあるのではないかと考えた。そこで鳳鳴高校の生徒にアンケートをとり、そこで挙げた丹波篠山市のデメリットと考えてられていることをメリットにするための提案や、他の地域と丹波篠山市がしている取り組みを比べて丹波篠山市にも活かせる取り組みについて考えた。調べていくうちに、丹波篠山市にもたくさんの取り組みがあることがわかった。そこから丹波篠山市の取り組みを知ってもらうために、SNSを使って発信することを提案する。	

210	介護のストレスを軽減するには
中西琴芭 清水来実 小野愛真	
前回の探究では、サポートの受けられる場をうまく活用し、介護者、要介護者だけでなく周囲の私たちから、相談しやすい雰囲気づくりを行うことが大切だという結論となった。そこで、気軽に相談できる場所を知ってもらうため、市役所に行き、そこでもらった資料をもとにマップを作った。ただ、マップを作っても就職する人が少なければ施設は成り立たないため、今より広く介護の魅力を伝えていく必要があると考えた。	

211	高齢者の健康維持に有効な運動は何か
中原裕紀 西田向志	
前回の探究の結果、高齢者の健康維持のためには、運動が重要であるということが分かった。そこで今回は具体的に、どのような運動が効果的であるのかを運動施設に通う健康な高齢者にインタビューする事と、インタビューの結果得られた具体的な運動方法についてネット上でさらに詳しく調べる事で明らかにしようとした。探究の結果、1日5分程度足を動かし、全体の血流を良くするようなストレッチ運動が健康に対して最も効果的であると分かった。そして、今後はこれらの運動方法をどのようにして高齢者へ広め定着させていくかが課題であると考えた。	

212	児童虐待数を減らすには
西田知夏 藤原舞衣	
私たちは日本の児童虐待数を減らすために、現在児童虐待数が上昇しているイギリスと日本の児童虐待への対応や対策に不十分な部分を見つけ出し日本に取り入れるべきことを調べた。その結果、通告の積極性、親(加害者)側の心理的サポートが不十分であること、貧困などが課題であると分かった。このことから日本には国からの通告を積極的にすることの呼びかけや親のカウンセリングの実施、家庭内の経済的サポートが必要だと考えた。	

213	丹波大山駅の階段を登りやすくしよう
安井悠真 善明和 赤井優珠	
丹波篠山市の多くの駅は足の不自由な人が使いにくい現状である。この探究ではその中でも特に段差が多く、階段が整備されていない丹波大山駅の現状を調べ、老人ホームや病院と比較した時の改善点を見つけることで、その他の駅にも改善案を広げ、足の不自由な人でも使いやすい駅づくりを提案することを目的とした。そこで、三田市民病院と特別養護老人ホームに行ってそこでどんな工夫がされているのかを調べた。その結果、両施設とも階段が整備されており、欠けているところが全くないこと、また段差が無いと言えるほどOに近いとわかった。以上のことから階段を全て変えるのは不可能だが、階段の欠けているところや段差があるところをなくすことが必要だと考えた。	

214	外国人観光客を増やそう!!!
川邊大哲 川野奏剛 松本圭介	
近年、新型コロナウイルスによる影響で外国人観光客が減少している一方で、彼らは、「静かで日本らしい場所」を求めて丹波篠山市に来ていることが分かった。本探究では、丹波篠山市の存在をより多くの外国人に知ってもらうため、現在はその素材を用いてPR動画の作成をしている。町の風景や地域の祭りの素材をメンバー自らの足で歩き、収集を行った。その結果、数多くの丹波篠山市の魅力を再認識することができた。今後の展望として、素材をまとめたPR動画の作成過程で出た考察を元に疑問点、改善点を市役所の方々に伺い、完成したPR動画を提出する。	

215	日本語教室の発展のために
引口天仁 平良壮汰 井関鉄生	
現在、篠山では在留外国人と日本人の言語の壁が大きい。そこで私たちは日本語教室を広めることで言語の壁を改善しようと考え、日本語教室の実態を知るため実際に日本語教室の方に実態を聞き、スタッフの人数が充実していることや、難しい日本語が伝わらない時は優しい日本語を活用しているなど教室が充実していることが分かった。その一方で、生徒数が少ないという課題も分かった。そこでより沢山の在留外国人に日本語教室を広めるために何ができるのかを考えた。	

216	外国人の言語対応
中谷優介 石田悠翔 中山賢志郎	
近年少子高齢化が、深刻化する中で外国人労働者や観光客は郊外である丹波篠山市に経済面だけではなく介護面などに影響を与えている。そこで昨年は外国人の方々が暮らして上で言語対応に問題があると思い調査を行った。フィールドワークを通して在留外国人の方々に対して高校生だからできる地域に密着した関わりかたがあるのではないかと思います、今年度は夏休み中、外国籍の子どもたちに対して学習支援を行った。これからも言語、学習を通して地域の方々と在留外国人の交流を促進する役割を探っていききたい。	

217	すべての外国人が住みやすい街へ
蘆田大心 高橋怜音 安達泰三朗	
私たちは丹波篠山市に在住する外国人の中でベトナム人の割合が一番高いことをうけ、ベトナム人が住みやすい街づくりをテーマに活動した。活動の中で昨年は岩崎電気て働くベトナム人の方々にアンケートを取った。結果としては言語の壁に悩んでいるようで、丹波篠山にある日本語教室なども認知されていなかった。このことから言語サポートが認知されていないのではないかと考え、国際理解センターへ話を聞きに行った。話を聞く中で、言語問題以外の問題もたくさん見えた。	

218	高校生の通学を便利にするために～バスの時刻と高校生の利用時刻との一致を目指して～
金田恋樺 甲浩行 八木晴美	
私たちは市内の高校のバスの時刻をより良い時間にするために探究活動をしています。現在のバスの時刻は高校生の意見をもとに作られたものではなく、高校生の下校時刻とバスの時間に連動していません。そのため、バスを30分以上待つ場合もあります。そこで私たちは昨年度から高校生にアンケートをとり、高校生にとって利用しやすい時間を調査し、神姫バスにバスの時刻の変更を提案することを計画しました。しかし、バスの時刻の変更だけでは問題を解決できないことがわかり、既存のバス路線の経路変更も考え、今年秋にバス会社や市役所などに提案する会議をもちました。現在は、3月のダイヤ改正の際の実現を待っています。	

219	丹波篠山の旬の食材カレンダー
王鞍 幸 川根陽人 武内佑磨 松本怜奈	
昨年度の探究の結果から、外国人観光客は日本の食に興味があることがわかった。丹波篠山市の旬の食材をアピールするために、丹波たぶち農場さんと観光協会の方にインタビューし、特産物についての知識を深めた上でカレンダーを作成した。カレンダーは日本語だけでなく外国の方でも読めるように英語版のものも作った。今後はバスの中や駅、商店街に設置してもらえるように提案を進める。	

220	デカンショ踊りをなくさない為に
小松咲貴 曾根くるみ 山口奏花	
昨年度に集計したアンケートから、デカンショ踊りを踊れる人が少ないことがわかった。そこで、デカンショ踊りをなくさない為に①文化祭で踊る②テレビでデカンショ踊りの特集をしてもらう③アンケートの実施の3つを実践した。その結果、沢山の人がデカンショ踊りを知ってもらうことができ、鳳鳴生がデカンショ踊りを残したいと考えていることが確認できた。一方で、当日踊りに参加した人がほとんどいないことがわかった。今後はみんなが踊ってくれるようにするにはどうすればいいかを考えていきたい。	

221	デカンショ祭りがより楽しいものになるには何が必要か
高部葵衣 仲谷英恵 細見ひより	
私たちはデカンショ祭りをより楽しいものにするため活動しています。最初の予定では着物レンタルを行っている花菱さんと一緒に何か企画を考えようと思っておりましたが、花菱さんの経営方針と合うものではなかった為、当初の予定を変更し、鳳鳴高校全学年にアンケートを取り、良かった点、改善点をそれぞれ回答してもらいました。その結果、改善すべき点に休憩所とゴミ箱の少なさがあがりました。この結果をもとに、私たちは解決策を考え、それをデカンショ実行委員会の方へ提出していきます。	

222	川と人間
中嶋貴之 田中将也 谷口良武 森田海里 山崎仁人 澁谷和真	
近年、川遊びをしている子供が減っている。私達の目的は川遊びをする子供を増やすことであり、そのために川遊びの楽しさを伝えること、遊べる川の見える化を行えば可能になると考えた。そこで、川遊びのイベントに参加し、その内容を踏まえ、川で遊べる内容や川の危険な場所等を記載しているパンフレットを作成し、小学校、施設に展示することを考えているが、現在はパンフレット作成中のため、効果は分からない。今後はパンフレットを見た子供に、川遊びをしたくなったかを尋ね、効果があるのかを確認しようと考えている	
223	農作物と気候
奥山 遥加 金井雄大 京川 和香 寺田 仁 原田彩花	
私たちは去年、霧と農作物の関係を調べ、霧によって農作物がよく育つことがわかりました。今年は実際に学校の近くで黒枝豆を栽培しました。日の当たる方が大きく育つと仮説を立てましたが、あまり変化はありませんでした。10月に一部を収穫し、その黒枝豆を使っておにぎりを作りました。今後は余った黒枝豆を黒豆として収穫し、それをどう活用するかというのが課題です。	
224	獣害対策
後藤昂大 坂本悠斗 畑翔太 細見梓真	
現在は、動物による農作物の被害が深刻化している。そんな中、対策を担う人の減少と高齢化が進んでいる事がわかった。そこで、現状調査をし伝えていくために獣害対策実践塾への参加や大熊自治会の獣害柵の定期点検を6月から約半年間実施した。その結果、獣害や倒木による被害の修復のための荷物の運搬が必要であることや高低差があるので高齢者には負担が大きいと感じた。このようなことから、獣害対策にどのような形で若者が関われるかという課題が浮き彫りになった	
225	自分の勉強スタイルを見つけよう!
大江陸人 竹見桃香 中野優美 村上珠基	
私たちの話し合いの中で、勉強に集中したいという思いがありました。そして、調べていくにつれ2つの勉強法が主に良い勉強法として挙げられていました。1つは、25分5分勉強といった短く区切る方法。2つ目は、50分10分休憩といった長く区切る方法。この二つのうち結局どちらが適すのかを明らかにしたいと考えています。私たちの予想としては、25分の短い方法だと考えており、実際同じ勉強方法で勉強するという実験を行なっています。その結果や考察から他の学生の学習の質の向上の助けになったら良いと思っています。	
226	ストレスを減少させる方法とは
細見日汰 小倉大志 田中陵翼 齋藤若颯	
近年自殺に関するニュースを目にすることが増え、中でも若年層の自殺率が増加傾向にあることが分かった。そこで、私たちは探究活動を通し少しでも自殺を企図する若者を減らしたいと思っている。私たちの探究ではストレスがかかりやすい人の特徴を見つけ出し、若年層の自殺率を間接的に減らしていくことを目標としている。一度校内でストレス測定の実験を行ったが数が足りず正確なデータを収集することができなかった。そこで範囲を広げ、市内の小中高(約母集団1000人)で再度統計を取りたいと考えている。あくまでも1例だが長男長女はストレスが溜まりやすいのではないかと予想している。	
227	蓄電池～人間の活力と睡眠の関係～
田土真菜 三島悠人 本橋小粋	
疲れ切ってしまってそのままベッドにダイブ…活力を回復し、次の日元気に過ごすにはどうすれば良いのか探求しています。人の活力を蓄電池に例えて、100パーセントを一番元気な状態にして、様々な項目についてアンケートをとりました。その中でも最も活力に関係が見られた睡眠について実験を行い、より良い睡眠が取れるような環境を探求しています。	
228	背景色と食べ物色の関係性
樋口陽奈 本田りさ	
私たちは背景色と食べ物色の関係性について調べています。現在進めていることとしては、丹波篠山市で有名な黒豆アイスを使って黒豆アイスをどうすれば美味しく見せられるかを探究しています。アンケートをとることで黒豆ソフトの秋という季節感を払拭するだけの効果が背景にあるのかを明らかにしたいと思います。誰もが商品を魅力的に見せることができる方法を探し、関連性から背景を設定するという仮説から地域貢献につなげたいです。	

229	小説で国語の点数をあげよう!
塚谷守生 若宮あい	
私たちは小説を読むことで、国語の点数を上げられるようになることを目指している。私たちは国語の問題の解き方に注目して、解き方を知り、工夫することで国語の問題を解く力、つまり国語力を身につけられるのではないかと考えて、文章を音読することで国語力が身につくという仮説を立てて実験を行った。また今後、鉛筆読みという読み方についても実験を行うと考えている。	
230	「好き」って何?
土屋美織	
「好き」の感情は人によって向ける先や形が異なっている。その価値観の違いはどこから生まれるのだろうか。私たちはそんな価値観の違いについて探究を進めてきた。「恋愛の価値観は兄弟姉妹間における自分の立場によって変化する」という仮説を立て、人の恋愛の傾向をパターン化し、アンケートによって検証した。	
231	人類幸福化計画～幸せは人工的に作れるのか～
廣岡 尚 梅田里音 船崎煌右	
ある実験で学生の年齢が高くなるにつれ幸福度が下がっていることを知り、それに共感を持ち、幸福の維持、向上を目指した。幸せな時、主に3つのホルモンが出ていることがわかり、この3つのうちの一つが発生した状態を幸せと定義した。その中でドーパミンが達成感を得ることで発生することから、達成感を沢山得ることで幸せになるのではないかと考えた。それを調べるために、アンケートを実施した。その結果から、私たちは、幸せになる方法は、目標を達成した上で更なる目標があることであると提案する。	
232	見たい夢を見るにはどうすればいいのか
西垣果音 西田朱希 前田江怜奈 松本美伊菜	
私たちはいい夢を見て1日のテンションを上げたいと思い、このテーマを選びました。夢日記をつけてみたり、睡眠時間と夢の良し悪しを記録したり、これまでいくつか実験を行ってきました。今回は、スマホの使用が夢に関係しているのではないかと仮説のもと、実験を行いました。どのような要素が夢に影響を与えているのかを知り、いい夢が見られるように探究を進めています。	
233	人を惹きつける文章とは
木戸柊汰 佐圓聡平 山下脩太	
「分かりやすい・綺麗・惹きつける」といった文章を書きたいと思いこのテーマを選びました。どのような文章が人々を惹きつけるのかを考えるために小説や新聞を用いて探求を行いました。まず惹きつけるとはどういうことなのか、どういった手順で書いていくのか、強調したい言葉はどう目立たせるのかなどを様々な仮説を立て検証してきました。ここで得た発見を違う媒体で活かせるかなどを今後考えていきたいです。	
234	物忘れと私生活 ～必要以上に落ち込まないために～
今村悟 田中陽 大西泰生	
私たちは、物忘れと私生活は密接に関わっている問題であり、物忘れに悩まされている人は少なくない事を知ったためこのテーマを選びました。そのため物忘れと関係している要因として、印象を持たせることが関係しているのではないかと仮説を立て、実験し結果を分析・考察しました。本研究での最終目的は少しでも物忘れを減らし、生活の手助けとなる方法を考えることです。	
235	鳳鳴生にヒットする商品は何か
齋藤豪介 中井悠大 酒井高志朗	
私たちは当初、コロナ禍後に若者の間でヒットする商品は何かというテーマで探究を進めていましたが、テーマを変更し「鳳鳴生にヒットする商品はなにか」というテーマで探究をしています。過去にしたアンケートを元に、商品と場所に分類して分析を進めています。この結果を分析、考察し発表します。	
236	音楽で勉強のモチベーションを上げる
團野真一朗 森本虎太郎 森本悠吾 安原 昊生	
宿題を溜め込むことなく、すぐに終わらせられるようにするためにこのテーマを選びました。モチベーションには何かが関係しているか調べた結果、運動や環境、音楽などが関係していることが分かったので音楽とモチベーションの関わりについて実験を行いました。この発表では、その結果を分析し、考察したことをポスターと口頭で発表します。	

(2) 生徒成果物

(3年コース生 英語プレゼン要旨・スライド、日本語スライド、1・2年生 ポスターより抜粋)

鳳鳴坂から鳳鳴生を救え ～鳳鳴坂を楽に上る方法の探究～

井上 海璃 橋本 一臣 増田 航希 山口 寧彩

抄録

私たちは篠山鳳鳴高校にある、校門の手前から校舎までの間にある『鳳鳴坂』と呼ばれる坂を楽に登る方法を調べた。その結果から荷物を少なくすることが最も簡単かつ効果的だと考え、それを実現できるような方法を提案した。

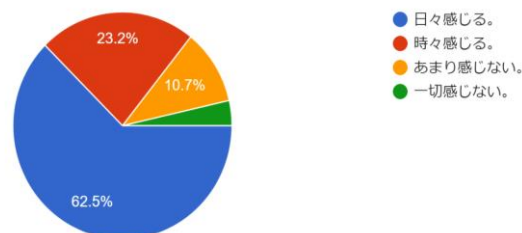
1. 研究の背景と目的

篠山鳳鳴高校には利便性に欠ける部分が数多くあり、その中でも最も大きな不満を感じていた『鳳鳴坂』での負荷を少しでも軽減したい、またそれを可能にする現実的な方法を提案しようと考えた。

鳳鳴坂で疲労を感じるがありますか？（交差点渡ってから駐輪場まで）
112件の回答

2. 方法

- ① アンケートによる現状調査を実施する。
- ② 楽に登れそうないくつかの方法(実用的なもの)を考案する。
- ③ 方法②で考えたものの実験を行う。



3. 結果・考察

- ① 鳳鳴高校の生徒の約九割は自転車に登校していて、その内約九割の生徒が鳳鳴坂が原因で疲労を感じている。
- ② 考えた方法
A: 自転車のギアが”重い”か”軽い”か
B: 荷物を”前のかごに入れる”か”背負う”か
C: 荷物を”持つ”か”持たない”か
- ③ それぞれの実験の結果から A の実験では軽いギアの方、B の実験では前かごに入れる方、C の実験では荷物を持たない方が負担が小さくなるという結果になった。

4. 結論・展望

実験の結果から特に荷物に着目し、荷物を減らすことによって簡単に鳳鳴坂を楽に上る事ができると結論づけた。今後の展望としてこの結論から提案がある。一つ目は生徒が教材を置いておくことのできるロッカーを設置すること。二つ目は教材量を減らすために教材のデジタル化を行うこと。この二つを実現することで私たち生徒の学校生活が良いものになると考える。

5. 参考文献

坂道における高齢者・障害者の移動負担の計測 坂道と発信時における高齢者の自転車走行特性 国立健康・栄養研究所:改訂版 『身体活動のメッツ(METS)表』

Save Homei high school students

The background image shows a large, modern white high school building with a prominent curved roof section. In front of the building, there is a sign with the Japanese characters '篠山鳳鳴高校' (Shinoyama Hōmei Kōkō). The school is situated on a slight rise, with a lush green field in the foreground and a forested hill in the background under a clear blue sky.

3-4 Group 10

Kairi Inoue

Isshin Hashimoto

Kouki Masuda

Neiro Yamaguchi

Motivation For Research

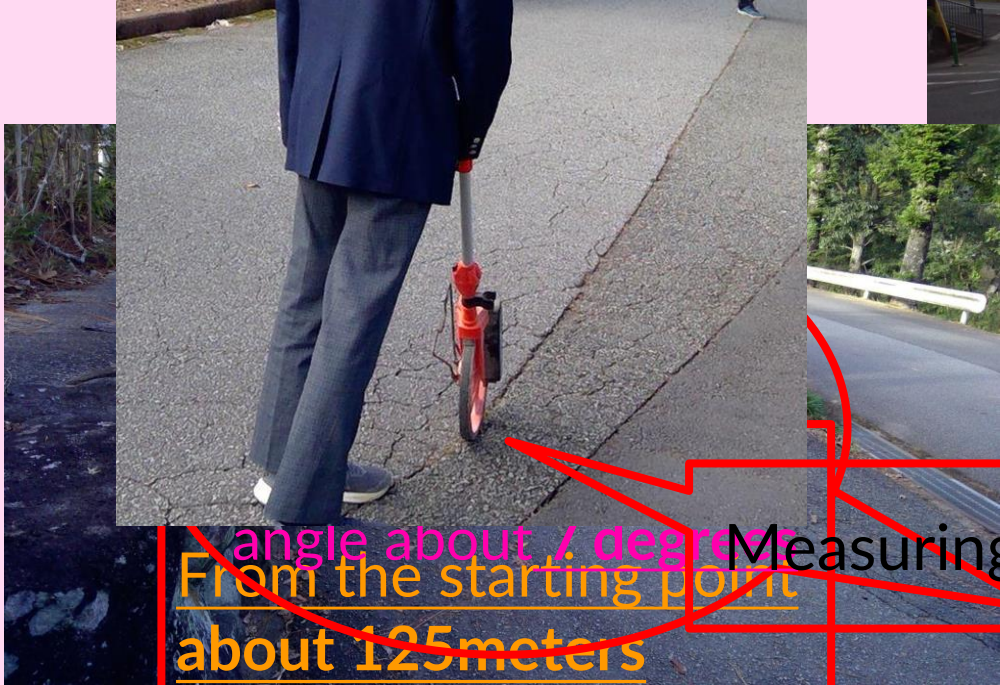
There are a lot of inconvenient points of Homei, and we are feeling stressed about it. In particular, the Slope Of Homei is considerably steep. We can't concentrate on our classes due to fatigue from climbing. We had a motivation for researching how to climb it without fatigue.



About Homei High



Start point ↓



angle about 7 degrees
From the starting point
about 125meters
angle about 10degrees

Measuring Wheels

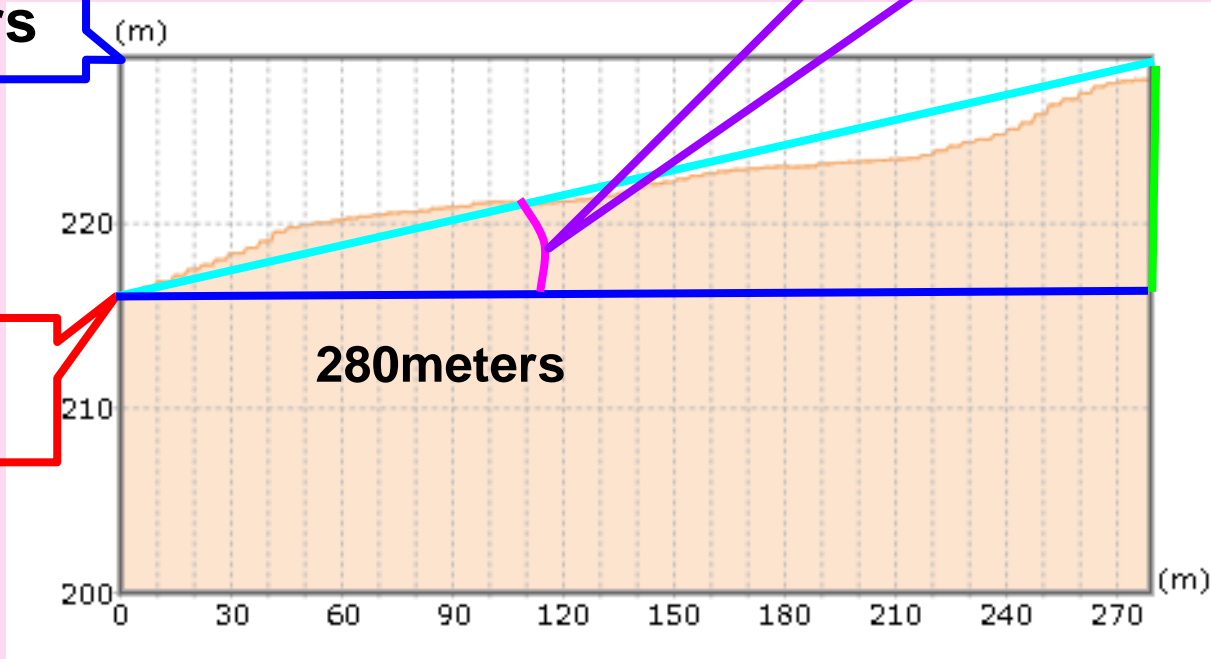


Finish Point ↓

Created from GSI Inclination Map
of the Homei Slope

227meters

Average angle
 $\theta = 2.3$ degrees



Height
11m

216meters

280meters

How to find the angle $\theta = \tan^{-1}(11/280)$

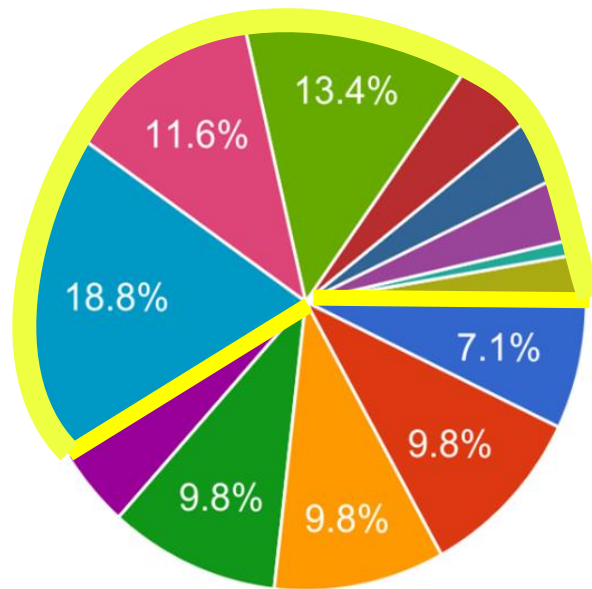
Current Situation

鳳鳴高校に通う生徒の
約9割が自転車通学

約9割の生徒が鳳鳴坂
で少しでも疲労を感じる

自転車を25分以上漕ぐ
人が多い

*How long does it take to
How do you come to school?
get to school*



Do you ever feel tired
at Homei high?

Research Question

What's the purpose of climbing
Slope Of Homei with
fewer exhaustion?



Survey Method

*Climb the Slope Of Homei
in various situations
with bicycles*

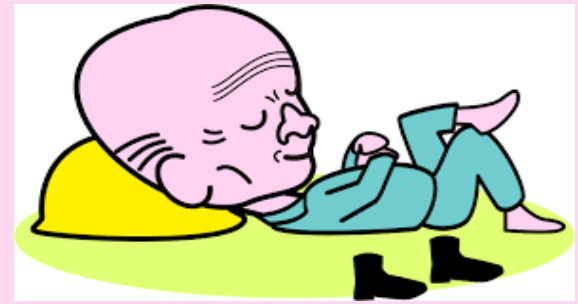
The background of the slide features a silhouette of a steep, curved slope against a sunset sky. Several figures are shown climbing the slope, connected by ropes, suggesting a team effort or a challenging task. The overall tone is dramatic and emphasizes the difficulty of the task.

Experiment Details

- 実験場所 鳳鳴坂
- 被験者 班員と協力者
- 使用したもの 自転車,荷物,ストップウォッチ,スマートウォッチ
スマートフォン(アプリDayBandを使用するため)



Experiment Point



- Taking a break to reduce condition difference
- Conducting next experiment again when heart rate returns to an ordinary level.
- Thinking exhaustion with “Consumed Calories”
- If you consume less calories, we look untired.



Definition

Consumption of calories(kcal)

$=1.05 \times \text{Weight(kg)} \times \text{METs} \times \text{Exercise hours(h)}$



What's METs?

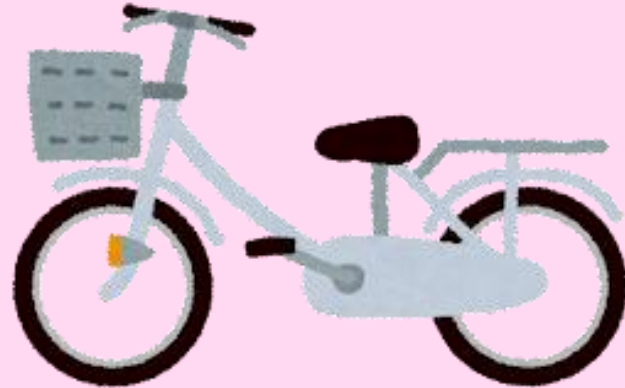
A unit of intensity of exercise

In case of climbing slope with bicycle...**14METs**

According to “The table of METs of some exercise” written by National Institute Of Health and Nutrition

Considered conditions

- Bicycle's Gear: Hard or Light
- How to carry luggage: front basket or carry on shoulders
- Have luggage or not

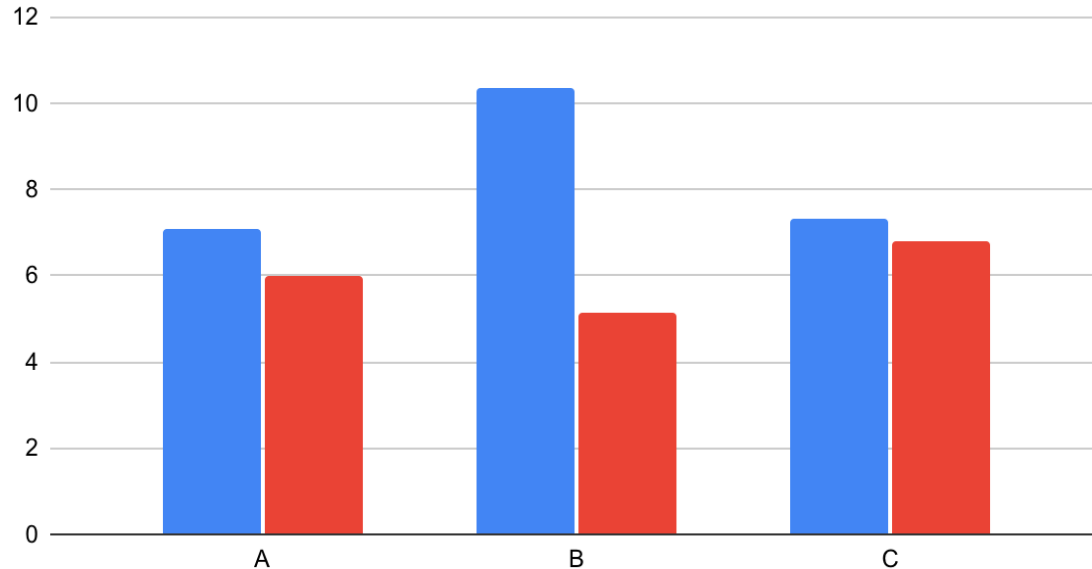


Results 1

Bicycle's Gear: Hard or Light(kcal)

重いギア(kcal) と 軽いギア(kcal)

■ 重いギア(kcal) ■ 軽いギア(kcal)



Conclusion And Consideration Point1

Firstly, it's easier to climb the slope with a light gear.

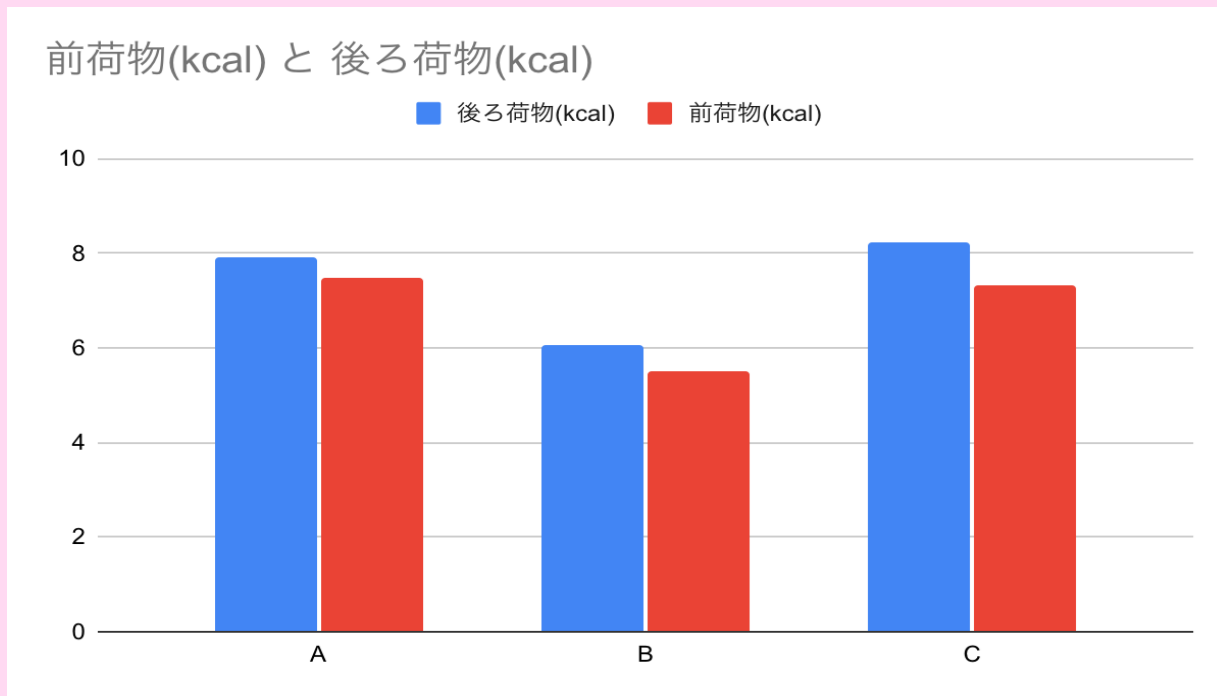


We thought it was because there were fewer forces to turn tires.



Result 2

How to carry luggage:
put front basket or carry on our shoulder(kcal)



Conclusion And Consideration Point 2

Secondly, it's easier to climb the slope when we put luggage into the front box.

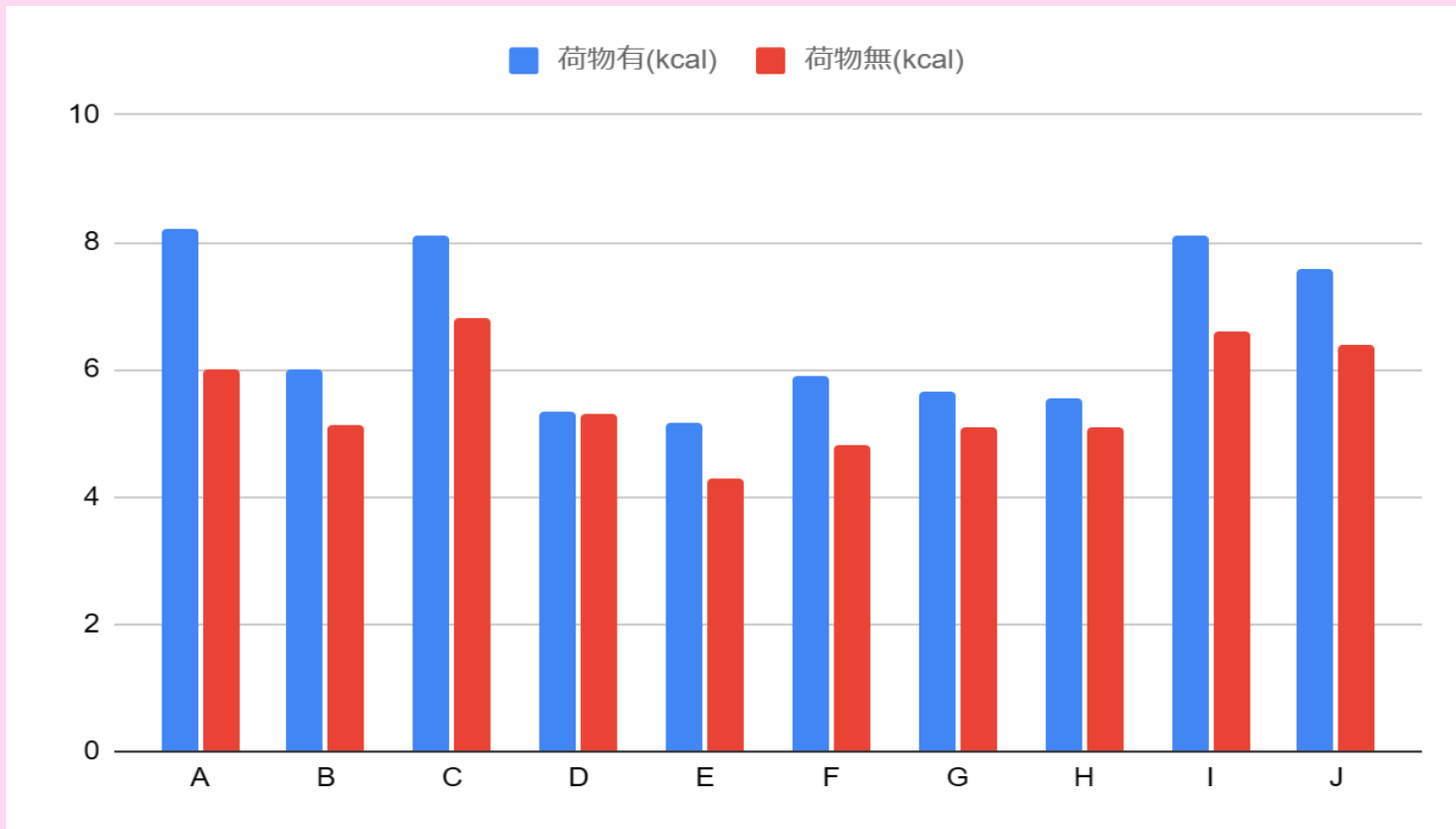


We thought it was because the moment of force is applied in the direction in which the tire rotates.



Results 3

Have luggage or not(kcal)



Conclusion And Consideration Point 3

Finally, it's easier to climb the slope when there is no luggage.



We thought it was because there were fewer friction forces as the total weight was lighter.



Conclusion

We found that "light gear and front luggage" is a way to climb easily.

In other words, if "weight + luggage" is reduced, calorie consumption can be reduced.



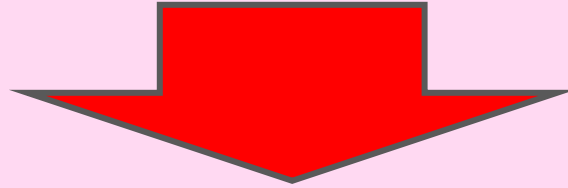
Suggestion 1

Install lockers in corridors and pilotis where teaching materials can be placed



Suggestion 2

Digitalization of teaching materials



School reform using ICT.

Bibliography

Measurement of the mobility burden of the elderly
and disabled on slopes

http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/200406_no29/pdf/102.pdf

Characteristics of elderly people riding bicycles
on slopes and during transmission

http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/200906_no39/pdf/367.pdf

National Institute of Health and Nutrition revised edition
『Mets table of physical activity』

<https://www.nibiohn.go.jp/eiken/programs/2011mets.pdf>





Thank you for
your attention



11 住み続けられる
まちづくりを



地方農村都市

「丹波篠山市」の環境が 子どもの成長に与えるメリット



吉田羽葵 和田碧衣

伝統文化や自然が豊かに残っている

丹波篠山
デカンシヨ節



日本遺産

丹波立杭焼

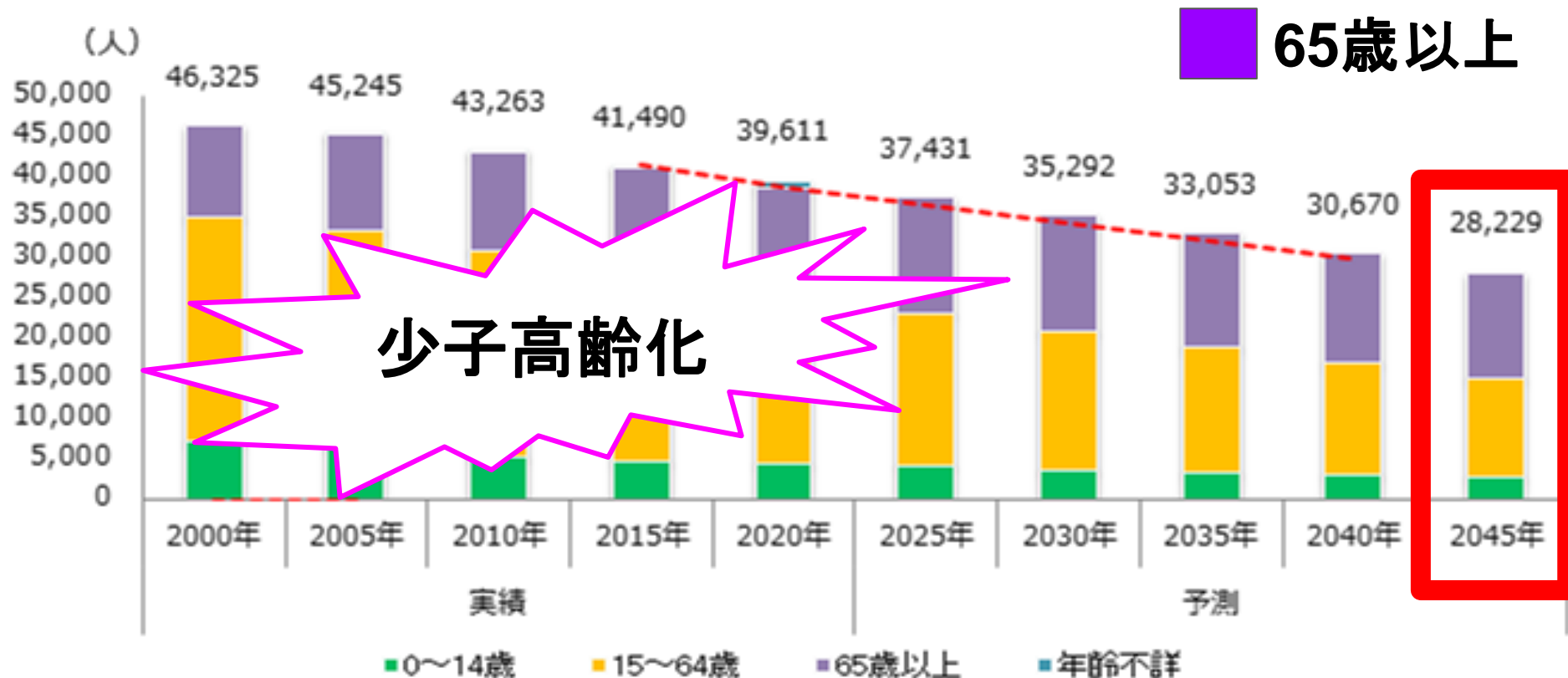


ユネスコ創造都市
ネットワーク



丹波篠山市の人口推移

総務省



田舎に若者が少ない原因

仕事の種類
が少ない

給料が安い

都会への憧れ



楽しみがない

遊べる
場所がない

生活の利便性

研究動機

丹波篠山市に若者を増加させて
丹波篠山市を持続する市にする

- ・ Uターンしたいと思える市にする
- ・ 魅力を感じ移住したいと思える市にする



問い



自然や伝統文化、
人と人とのつながりが残る
丹波篠山市で子どもが育つことには
どのようなメリットがあるのか

仮説

- ①丹波篠山市は人と人とのつながりが比較的大きく残っている
- ②自然や伝統行事、人と人とのつながりは子どもの社会性の発達にプラス効果がある



本探究では...

「地域コミュニティ」

➡ 信頼関係や相互扶助など
地域のつながりがある集団



「自然体験」

→ 自然の中で、
自然を活用して行う活動



「地域活動」

→ 地域のコミュニティの中で、
住民が主体的に行う活動

研究方法



① 生徒・保護者へのアンケート

丹波篠山市の地域コミュニティの実態を調査

② 文献調査

自然体験や地域活動への参加、地域のつながりが子どもの成長に与える影響を調査



アンケート調査について

準備期間：2022年8月～10月

回答期間：2022年10月13日～26日

対象：鳳鳴高校生徒・保護者

回答数：生徒91名・保護者51名

内容：年齢、居住地域

地域コミュニティについて など

仮説①

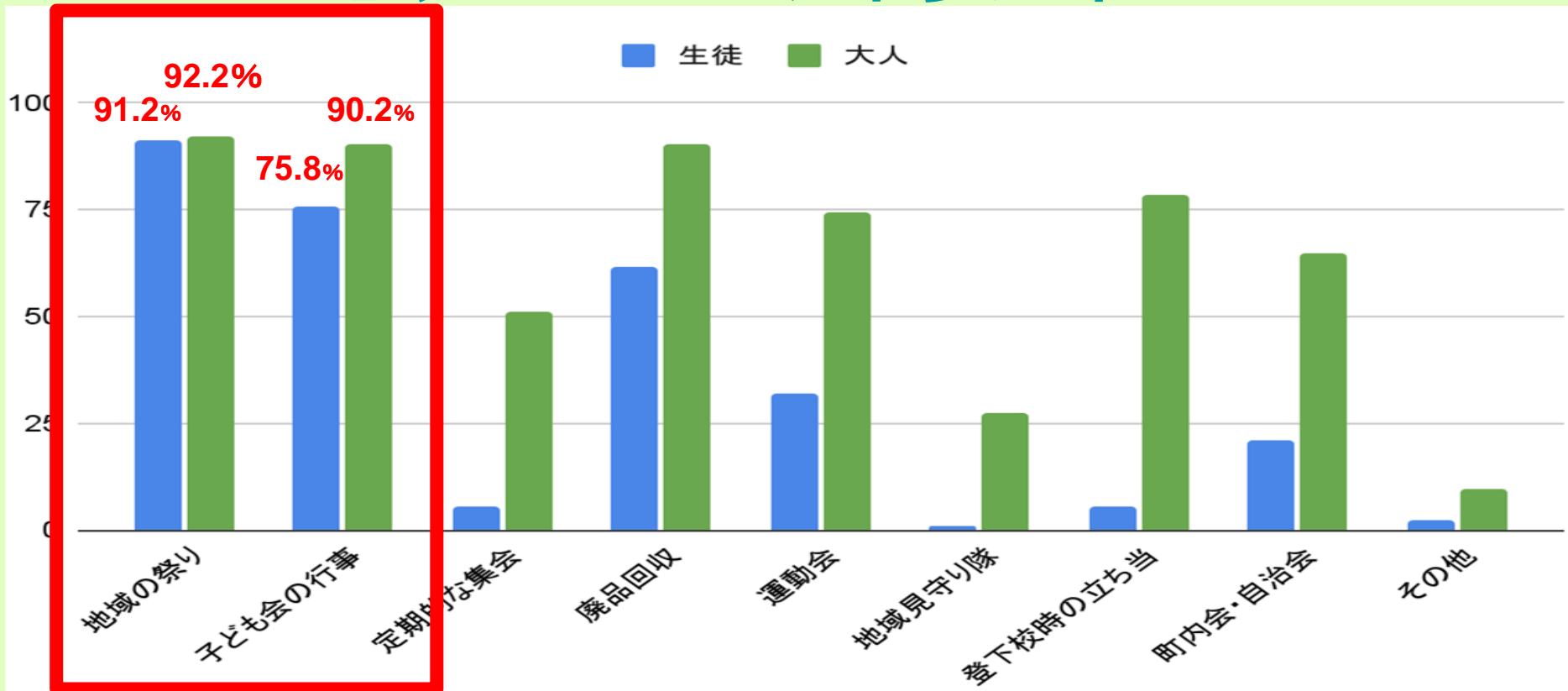
「丹波篠山市は人と人とのつながりが
が

比較的大きく残っている」を検証



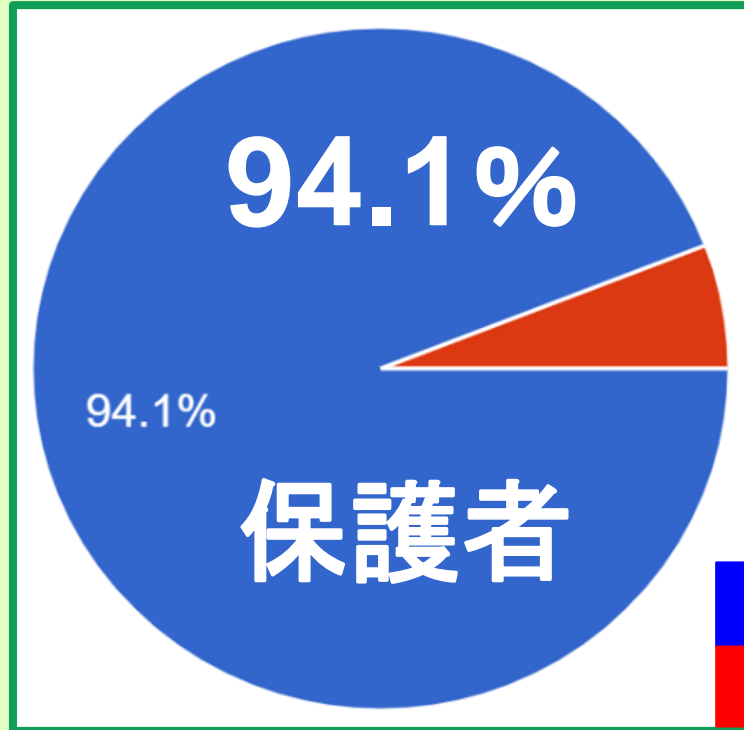
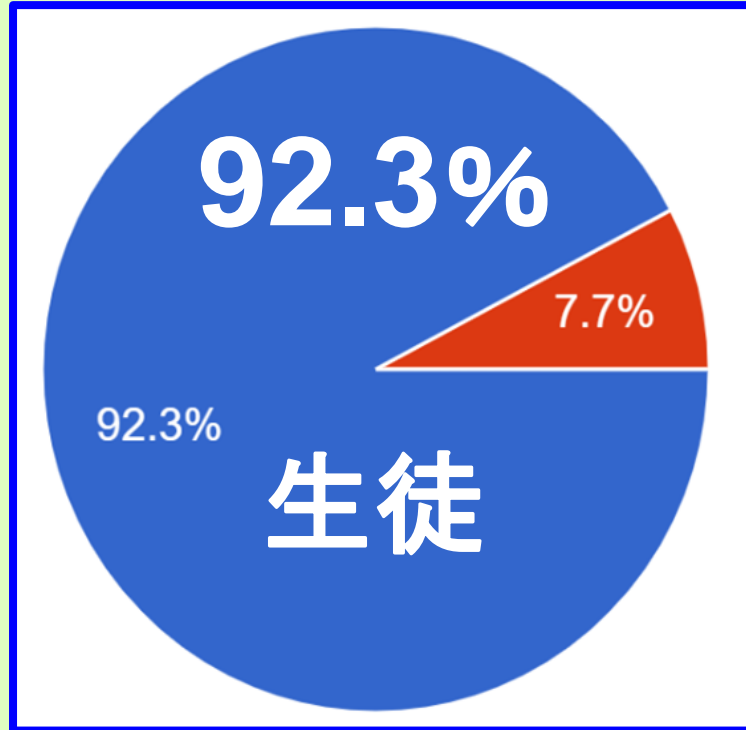
・アンケート調査結果① 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

地域コミュニティ参加率



- アンケート調査結果② 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

近所の人から何かもらったことがあ



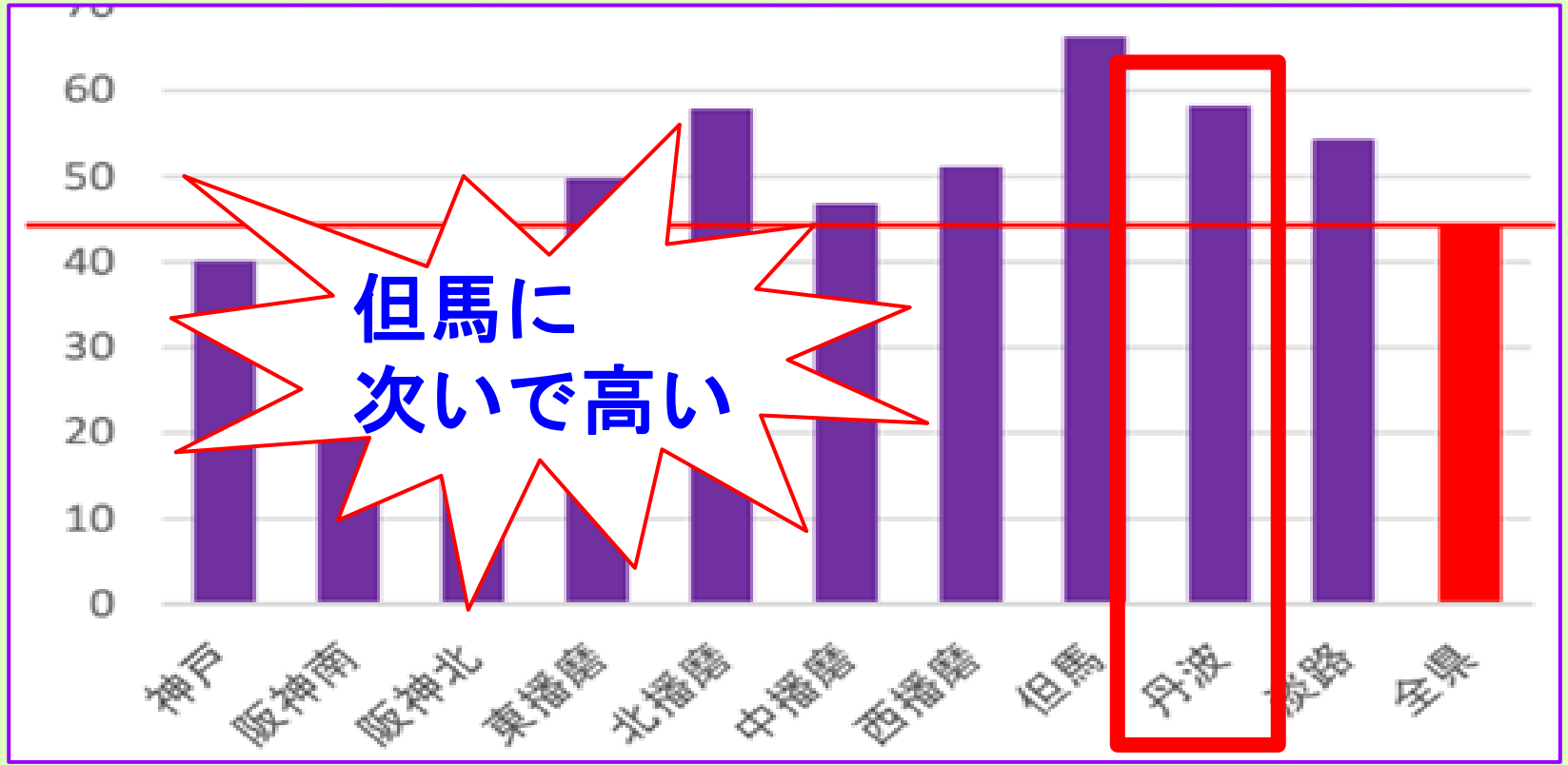
はい
いいえ

→ 現代も近所の方との繋がりが残っている

・ 文献調査結果① - 1 中播磨新地域ビジョン検討委員会 地域活性化と地域コミュニティの維持・再生

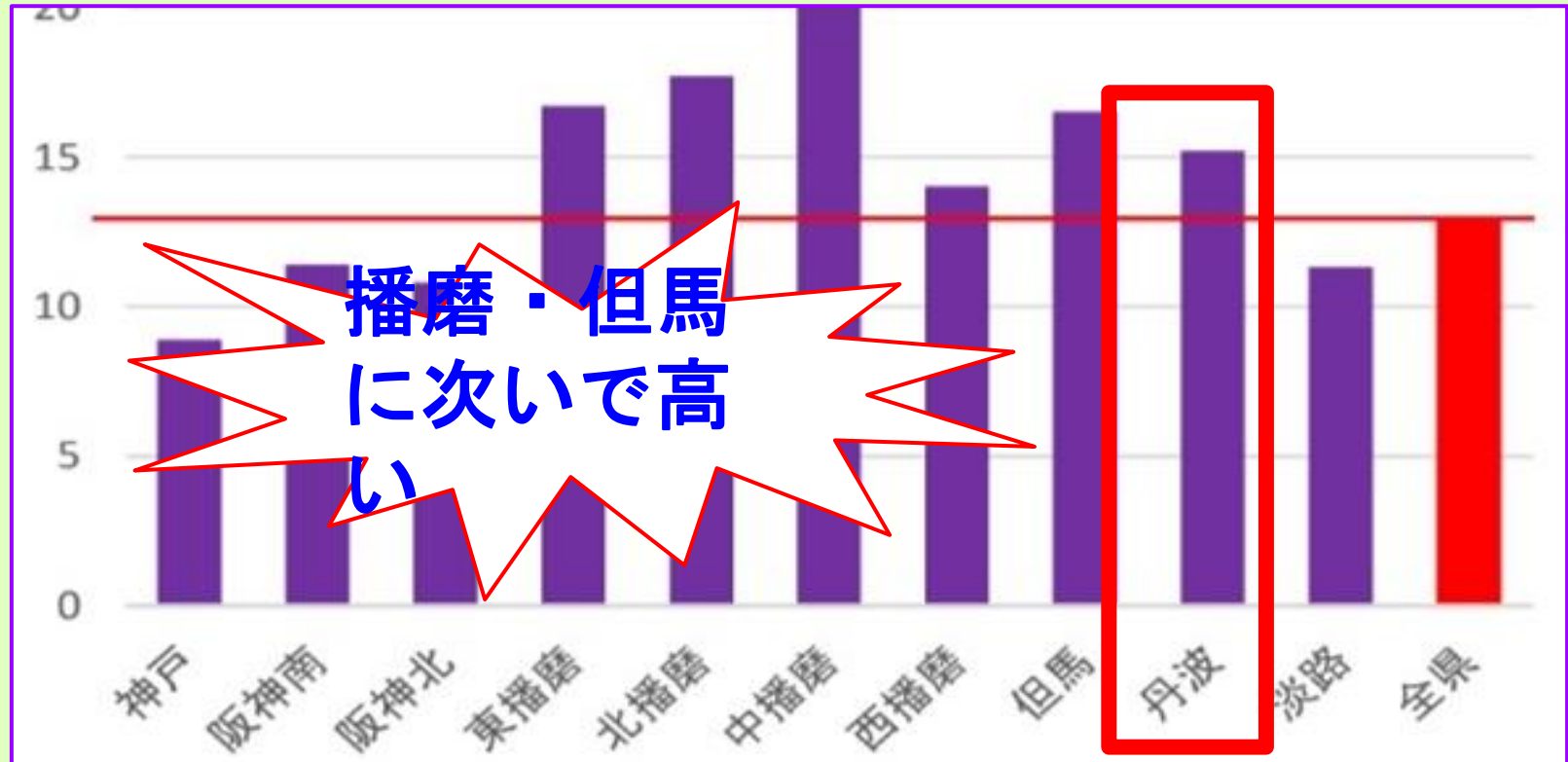
近所づきあいが比較的濃い割合

近所づきあい→よく立ち話をする・一緒に出かける・贈り合いをすることがある



地域の人々が繋がる機会が多い割合

地域の人々が繋がる機会→祭りやイベント



アンケート調査結果①② 文献調査結果①より

丹波篠山市は地域コミュニティが
他地域(兵庫県内、全県平均)よりも
機能している



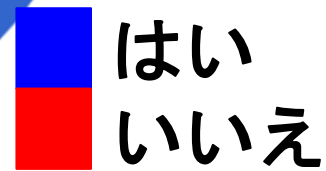
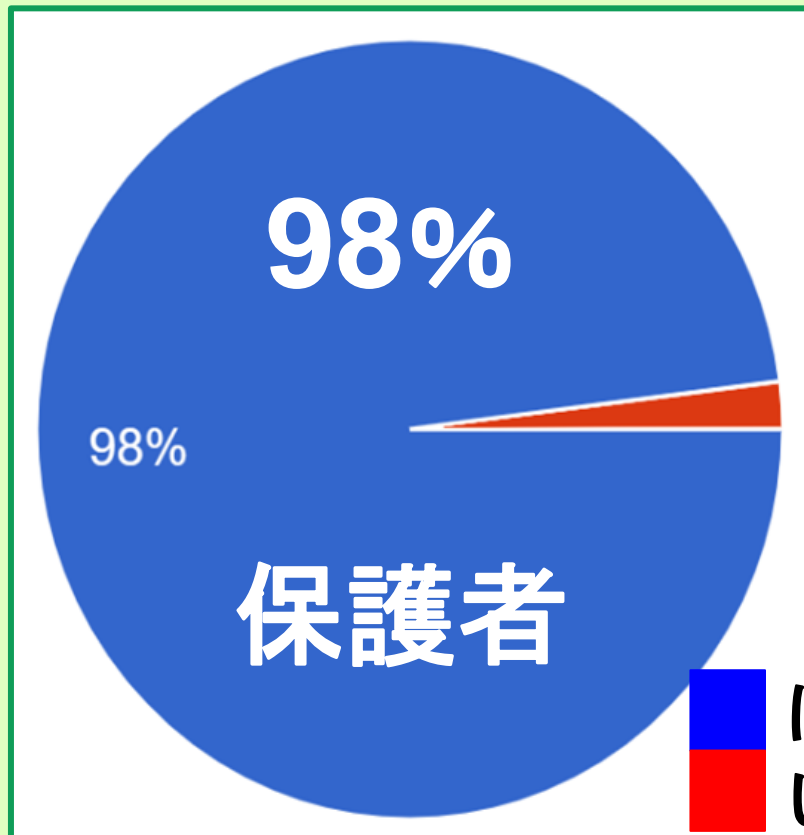
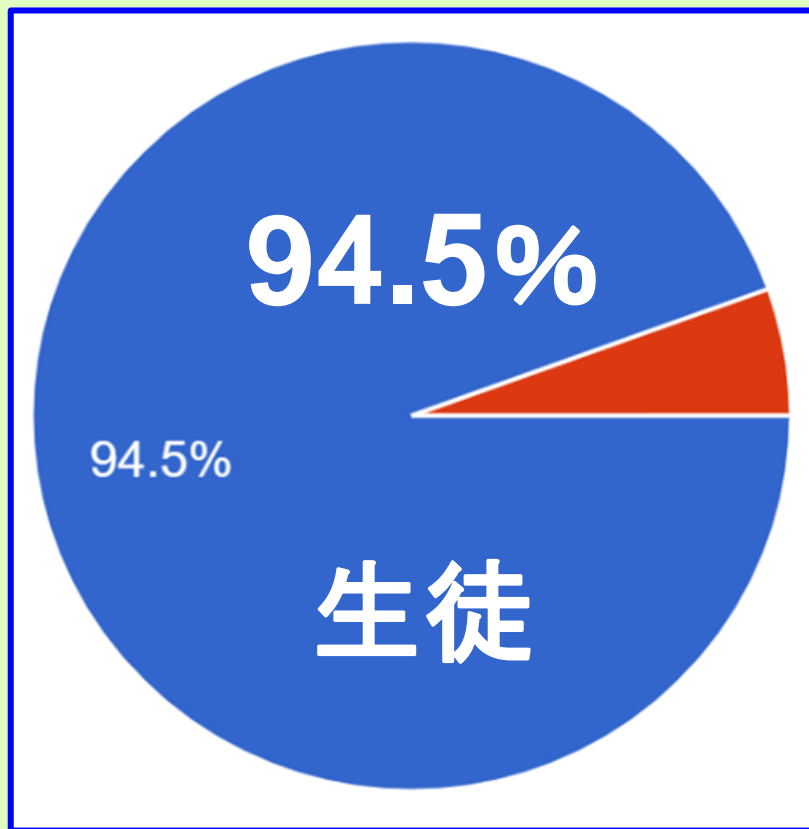
仮説②

「自然や伝統行事、
人と人とのつながりは
子どもの**社会性の発達に**
プラス効果がある」を検証



- アンケート調査結果③ 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

自然の中で遊んだ経験がある人



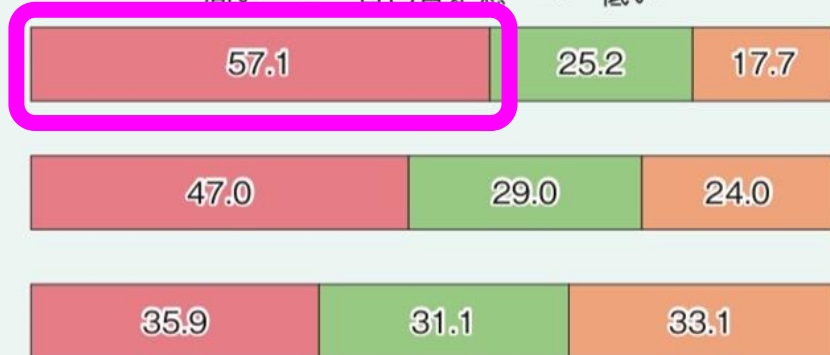
- ・ 文献調査結果②-1 「平成28年度文部科学白書」

自然体験が子どもの発達に与える影響

自然体験と自己肯定感の関係

高い ← 自己肯定感 → 低い

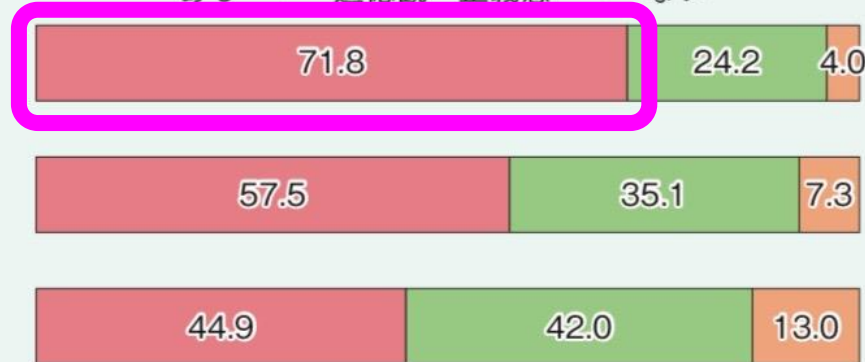
多い↑自然体験↓少ない



自然体験と道徳観・正義感の関係

ある ← 道徳観・正義感 → ない

多い↑自然体験↓少ない



➡ 子どもの自己肯定感、道徳観・正義感が高い

- 文献調査結果②-2「平成28年度文部科学白書」

自然体験が子どもの発達に与える影響



→ 大人になってからの人間関係能力が高くな

自然体験が子どもの成長に影響を与える理由

自然の中で見つけたもので遊びを考える

→ **発想力**や**想像力**を養える

水や土に触れて遊ぶ

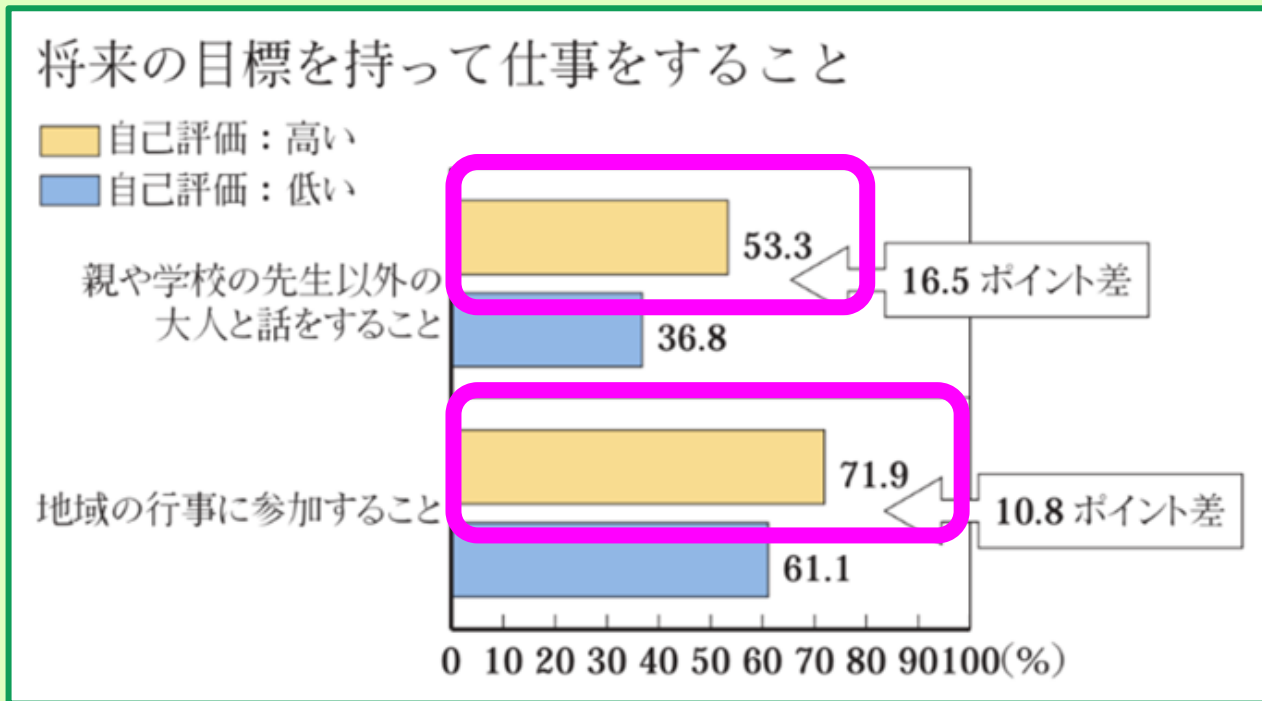
→ **感覚機能**や**身体機能**を成長させる

自然に住む生き物に触れる

→ **生命の大切さ**を学べる



仕事への目標と子ども時代の体験



→ 異なる価値観や考え方に出会う経験が多い人ほど
仕事における態度・能力の自己評価が高い

- 文献調査結果④「平成28年文部科学白書」

地域活動が子どもの発達に与える影響



→ 大人になってからの
意欲・関心が高くなる・学習意欲向上する

文献調査結果②③④より

子ども時代の社会性の発達だけではなく
大人になってからの学習意欲などの
生涯学び続ける力にも影響する



- アンケート調査結果④ 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

地域コミュニティに参加して

学んだこと・良かったこと(記述)

生徒：肯定的回答 **93%**

つながりができた (世代間交流・絆・協力) 83%

地域への理解が深まる 7%

地域への貢献ができた 3% 特にない7%

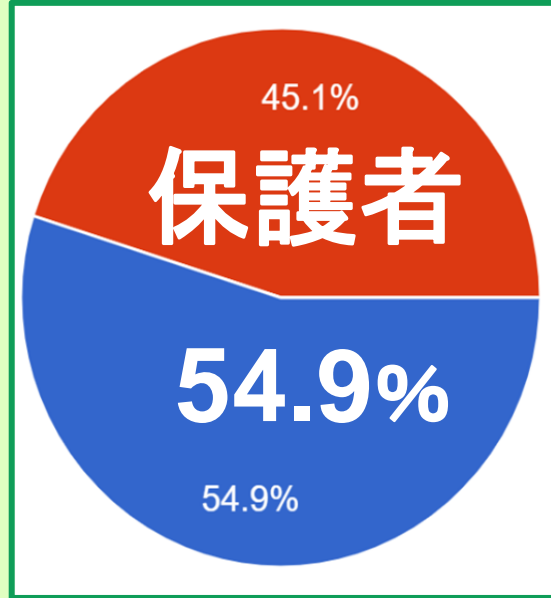
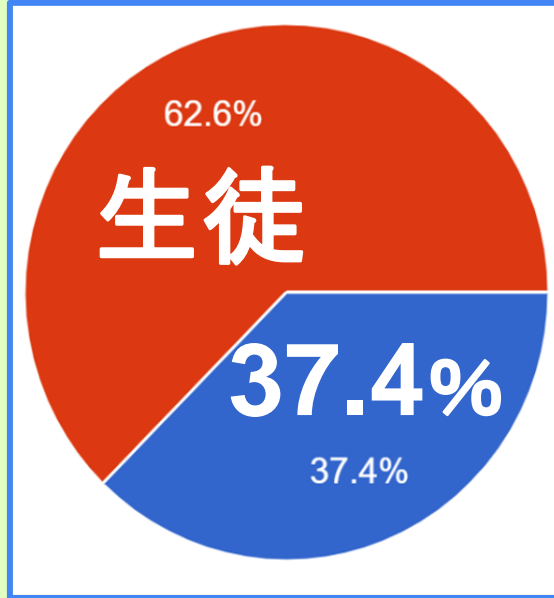
保護者：肯定的回答 **88%**

つながりができた (世代間交流・支えあい・団結感・絆・生活に安心感がある) 82%

その他 6% 特にない12%

- アンケート調査結果⑤ 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

親や先生以外の近所の人に
注意されたり叱られたりしたことがあるか



■ はい
■ いいえ

→ 保護者世代のほうが経験が多い
昔よりも地域の教育力は低下している

- アンケート調査結果⑥ 対象：篠山鳳鳴高校生徒・保護者

今後も残してほしい地域行事

- 各地祭り

ex) 青山神社武者行列(春)

デカンショ祭り(夏)

春日神社大祭(秋) など

- きつねがえり・亥の子・茶祭り



子どもの
存在で
成り立つ
もの
ばかり
である

結論

丹波篠山で子どもが育つメリット

- ・ 地域コミュニティの働きが残っている
 - ・ 社会性(人間関係能力)や学習意欲など
- 「変化の激しい時代を生き抜く力」を
身につけることができる



課題

= 少子高齢化による地域コミュニティの維持

丹波篠山市が子どもが育つ場としての良さを
持続させていくために、若者世代が

参加したいと思える地域コミュニティを実施
することが必要





ご清聴ありがとうございました



参考文献



地域活性化と地域コミュニティの維持・再生

[!\[\]\(99f58673407353e96a019fbca558fd72_img.jpg\) Microsoft PowerPoint - 08 《参考資料4》 基礎資料（地域活性化） \(hyogo.lg.jp\)](#)

子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実

[!\[\]\(339a16584d5da0f0a3ca4e9ec17bf6a1_img.jpg\) \[https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201701/1389013_007.pdf\]\(https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201701/1389013_007.pdf\)](#)

特集 家庭、地域の変容と子どもへの影響

[!\[\]\(de95854c7ee024cfadc48187bbb781b2_img.jpg\) <https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h20honpenpdf/pdf/tokushu.pdf>](#)